

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|---------|----------------------------|--------|---|
| 家計 動向 関連 (四国) | ◎ | － | － | － |
| | ○ | 商店街（常務理事） | 来客数の動き | ・年始からの株高も継続しており、経済は堅調さがうかがえるが、庶民にはその恩恵が感じにくい。今春、前年にも増して広く賃金が向上することになれば、消費環境は上向くものと期待している。 |
| | ○ | コンビニ（商品担当） | それ以外 | ・株価が上がってきているため、気運が上昇している。 |
| | ○ | 旅行代理店（部長） | 販売量の動き | ・Web予約が好調に推移している。 |
| | ○ | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・3～4月に向けて、少しずつ売上が増加してきている。イベントも増えてきたため、客がヘアスタイルを変えることが増えてきた。 |
| | ○ | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・SNSの影響や口コミにより、来客数が増えてきた。 |
| | □ | 商店街（代表者） | それ以外 | ・現状において地方経済が少しでも上向き可能性があるとなれば、投資市場が上向き、国民の可処分所得が上がる以外に見当たらないが、ようやく34年ぶりに株価が史上最高値を超えて活況を呈してきた。この状況がいつまで続くか知る由もないが、可処分所得の増加は大都市と地方との格差に大きな違いが少ない景気指標のポイントになる。 |
| | □ | 一般小売店〔文具店〕（経営者） | 来客数の動き | ・受注価格や販売価格の動きは変化がみられていないが、受注量や販売量は最近減ってきている。その原因として、客が買いためをしなくなっており、必要分だけを注文する小口注文が増えてきている。 |
| | □ | 一般小売店〔書籍〕（営業担当） | 販売量の動き | ・外商売上が好調で店頭売上のマイナスをカバーできた。2月の前半は出だしが鈍かったが、後半になるにつれて年度末が迫っていることもあり、好調に推移した。 |
| | □ | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・能登半島地震以降、観光客需要が減少しているようにみえる。 |
| | □ | スーパー（企画担当） | 単価の動き | ・来客数の伸びや買上数量の伸びは今一つであるが、1品単価がこれまでの値上げの影響で上がっていることに加え、うるう年の調整が入っていることから、売上の伸びは堅調に続いている。 |
| | □ | スーパー（財務担当） | 来客数の動き | ・ここ数か月、来客数の前年超えが続いていたが、ピークアウトし、ここに来て前年割れとなっている。 |
| | □ | スーパー（統括担当） | 単価の動き | ・来客数と客単価の動きは前月と余り変わらない。来客数は減少し、一方で物価高の影響もあり、単価が伸びている状況である。 |
| | □ | コンビニ（店長） | 単価の動き | ・物価上昇に比べて客単価が上昇していない。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・2月は本来悪い月ではあるが、今月は特に週末が雨ということも影響し、全体的に客が少なく、微減であった。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・景気は良くなっているのか。株価も過去最高のようなのだが、店頭で販売していると地方は景気は良いとは考えられない。インバウンド相手の商売はかなり良いようだが、日本人の消費は良くないと考えている。来客数も少なく、客単価も上がらない。 |
| | □ | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・新生活準備需要も思ったほどではなく、必要最小限の物のみを購入している。 |
| | □ | 家電量販店（副店長） | 来客数の動き | ・新生活需要が活発化し、白物商材を中心に前年度より5%ほど実績が上がってきている反面、暖冬の影響にて暖房商品の売上は悪い。 |
| | □ | その他小売〔ショッピングセンター〕（総務部担当部長） | 販売量の動き | ・販売量と来客数共に、新型コロナウイルス感染症発生前との比較において、3か月前と同程度の回復傾向がみられる。 |

| | | | | |
|--------|---|----------------|--------------|--|
| | □ | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・地方空港への海外直行便が徐々に増便されており、インバウンド需要が国内客の一服感を補い、横ばいで推移している。 |
| | □ | 都市型ホテル（経営者） | お客様の様子 | ・報道などでは企業業績が良く、景気は上向きのようにもみえるが、実感として景気が良いとは思えるようなことがない。 |
| | □ | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・3か月前と比べて販売量に大きな変化はないが、今後は減少していく可能性が考えられる。 |
| | □ | 観光遊園地（主幹） | 来客数の動き | ・来場者数に変化がない。 |
| | □ | 競輪競馬（マネージャー） | 販売量の動き | ・物価上昇による遊興資金の減少懸念は払拭されており、下振れすることなく推移している。 |
| | □ | 設計事務所（所長） | お客様の様子 | ・新規事業を起業する人が若干増加しているようだが、建築費の上昇が心配である。 |
| | ▲ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染症以降、企業や団体での行動が変わり、退社後の行動が個人行動となり、集客数が伸びにくくなっている。総じて厳しい状況が続いている。年始の能登半島地震等の不安要因や物価の上昇等が続き、経営への圧迫が続いている。 |
| | ▲ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・連休を中心とした週末の観光客の来客数がかかなり多くにぎわっているが、平日の来客数は極端に減っており厳しい状況であった。 |
| | ▲ | 一般小売店〔生花〕（経営者） | それ以外 | ・2月は個人経営の飲食店の閉店が多くなっている。そうした2月末で閉店となる方向けの送別用商品の注文が多かった。居抜き物件で開業している店舗もあるが、長続きしないところが多い。 |
| | ▲ | 一般小売店〔酒〕（経営者） | 販売量の動き | ・物価上昇で節約志向のなか、客は食料品以外の購入を控えている。 |
| | ▲ | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・前年の来客数を割り続けている。 |
| | ▲ | コンビニ（総務） | 来客数の動き | ・年明けから商品の値上げの影響が大きく、来客数の減少と客単価の下落が顕著になっている。 |
| | ▲ | 乗用車販売業（営業担当） | 販売量の動き | ・大手自動車メーカーの不正問題の影響で、オーダーストップや長納期の車が多くなり苦戦している。 |
| | ▲ | 乗用車販売店（役員） | それ以外 | ・受注制限車種の増加と大手自動車メーカーの不正問題による生産停止の影響がでている。 |
| | ▲ | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・1年間を通して、運送業、ハイヤー、タクシーのいずれも2月には景気が少し低下する。タクシーの稼働率も40～50%程度であり、乗務員が不足している状況である。さらに、乗車料金が19日から約13%上がったため、客足が少し遠のいたとみられる。また、スナックなどの飲食店は営業していないか、若しくは週休二日制になっているところが多い。来客数が減少しているため、営業を停止している店舗も目立つ。 |
| | ▲ | 通信会社（営業部長） | 来客数の動き | ・来客が減少している。 |
| | × | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・来客数と売上の両方が前年比減少している。物価上昇に対して、客単価がそれほど上昇していない状態である。客の購買意欲の低下がみられる。 |
| | × | 乗用車販売店（従業員） | それ以外 | ・エンジンの生産停止に伴い、産業車両及び貨物車の受注と販売も停止している。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 単価の動き | ・明らかに来客数は減少し、客単価は下がっている。固定客が来店頻度を減らしている印象を受ける。 |
| | × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・この時期は四国遍路の仕事がほとんどない。また、2月にしては気温が暖かく、穏やかな日が続いたため、街でもタクシーを利用してくれない。 |
| 企業動向関連 | ◎ | * | * | * |
| (四国) | ○ | 食料品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・特に外食ルートへの販売量が強くなっている。 |
| | ○ | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・昨年12月に一部商品を値上げした関係で、12～1月にかけて売上がやや低調であったが、今月に入り観光客がにぎわう小売店からの受注が活発である。 |
| | ○ | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・再生事業をしているが、案件を提案すると反応も良く、客の購買意欲が十分にある状況。 |

| | | | | |
|------------------|---|-----------------|------------|--|
| | ○ | 金融業（副支店長） | 取引先の様子 | ・引き続き受注状況は堅調であり、現状では景気はやや良くなっていると考える。 |
| | □ | 一般機械器具製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・日本では大規模工事が実施・計画されており、需要は堅調に推移している。海外では欧州やアフリカを除く全ての地域で需要は大幅に増加している。 |
| | □ | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事、民間工事共に受注が伸びない。 |
| | □ | 輸送業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・政局は不安定だが、景気は変わらない。 |
| | □ | 通信業（総務担当） | それ以外 | ・一部のボランティア活動等で社外イベントの参加者数が前年度より増加しており、景気の改善を実感はしないものの、状況は悪くなっていないと考える。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているとのニュースなどもあるが、人の流れに特段の影響は出ていないように見受けられる。 |
| | □ | 税理士事務所 | 取引先の様子 | ・業績に大きな変動がみられない。 |
| | ▲ | 鉄鋼業（総務部長） | 受注量や販売量の動き | ・受注量が若干低調である。大手自動車メーカー系の自動車関連設備投資の動きが鈍い。 |
| | ▲ | 建設業（総務） | 取引先の様子 | ・資材調達が困難な状態が継続している。さらに、資材価格の上昇により案件に不調が生じている。 |
| | × | 木材木製品製造業（営業部長） | 受注量や販売量の動き | ・受注量が大幅に減少し始めた。注文住宅の着工実績も回復の見込みなし。 |
| 雇用 関連 (四国) | ◎ | — | — | — |
| | ○ | 人材派遣会社（役員） | 周辺企業の様子 | ・公共施設での利用者数が前年度と比較して約120%の増加傾向となっている。新型コロナウイルス感染症発生前の状況にはほぼ回復しつつあるため、十分なサービスを提供できる人員の不足が課題となっている。今後、更に求人のニーズが高まってくると考える。 |
| | □ | 人材派遣会社（営業担当） | 周辺企業の様子 | ・一定の求人数はあるが、派遣登録の数は少なく、就労に結びついていない。しかし、離職者数は減少しており、一定数の派遣需要は存在する。 |
| | □ | 求人情報誌（営業） | 採用者数の動き | ・どの業界や企業でも慢性的な人材不足が継続しており、身の回りの景気は良くない状況が続いている。 |
| | □ | 職業安定所（求人開発） | 求人数の動き | ・新規求人数と有効求人数が、共に8か月連続で前年同月比で減少している。 |
| | □ | 学校〔大学〕（就職担当） | 求人数の動き | ・大学卒業生の就職活動で、内定が早くなっているようである。 |
| | ▲ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・来期の契約更新については、横ばいであろう業態の広告もほぼ全体的に、縮小又は微減での契約更新となっている。 |
| | × | — | — | — |